

消防団たずね歩き

消防団員から消防職員へ

東灘消防団本山東分団

東灘区は、神戸市の最も南東に位置し、北は六甲山、南には大阪湾が広がる東西約5キロメートル、南北約8キロメートルの大きな区です。

私が所属する東灘消防団本山東分団は、東灘区の北東端、住宅が立ち並ぶ閑静な地域を管轄とし、分団長以下17人で、日夜、地域住民の生命財産を守っています。

1・17

平成7年1月17日5時46分、未曾有の大地震が阪神淡路地域に起こり、この東灘区も甚大な被害が出て多くの尊い生命と貴重な財産が失われました。

私は、この翌年に生まれたので、地震のことは何も知りません。幼いときに父から聞いた話が胸に残っています。父自身が被災者で、自宅にて家具の下敷きになって動けなくなり祖母に救出してもらったというものです。

熱き思い

私は、この世に人の助けを待っている人がいて、それを助ける人や組織が存在することを学び、幼心にも、人を助けることを仕事とする消防職員になろうと強く思いました。そして、大学3年生になった時に、地域に消防団という組織があり、地域の安全安心のために活動していることを知りました。実際の消

防を肌で感じたいという熱き思いを分団長に率直に話して入団させてもらいました。

消防団活動

平成30年1月に入団して、地域の防災福祉コミュニティの訓練に参加し、人と人のつながりの重要性を体得することができました。日頃からの地域の団結力が、強い防災力になる。今までと違う視線から、地域の訓練に参加できたことは新鮮でした。

いざ、消防職員に…

本年度、神戸市消防職員採用試験に合格して4月から消防学校に入校します。小さい時からの夢が実現します。決して生易しい道ではないことは覚悟で救助隊員を目指します。

消防団への思い

1年あまりですが、お世話になった本山東分団の分団長以下団員の皆さまには、時には厳しく時には優しく指導していただきました。そのご恩に報いるために、立派な消防職員になっていきます。

(東灘消防団 本山東分団 緒方悠哉)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

